

今期原子力科学技術委員会の検討ポイントと今後の論点案

●今期の原子力科学技術委員会においては、文部科学省における原子力分野の研究開発プログラム評価を中心に審議を行った。また、「もんじゅ」サイトに設置する新たな試験研究炉の概念設計についても、着実に進展していることを確認した。

●また、本委員会の下の各部会においては、以下のような事項について調査検討を行ったところである。

- ✓ 日本原子力研究開発機構の新中長期目標・中長期計画（令和 4 年度—令和 10 年度）の策定に向けた提言の検討
- ✓ 「もんじゅ」サイトにおける新試験研究炉の概念設計に係る検討、「国際原子力人材育成イニシアティブ」や「原子力システム研究開発事業」の実施方針の検討等を通じた原子力分野における研究開発・基盤・人材育成に関する課題や在り方等についての審議
- ✓ 内外の動向等も踏まえつつ、原子力機構のバックエンド対策や国際的なピアレビューの確認、研究施設等廃棄物の埋設事業等についての検討
- ✓ 核不拡散・核セキュリティ体制強化について、将来担い手となる学生や若手研究者を対象とした人材育成について課題や今後の対応策等の審議や、ロシアのウクライナ侵略を契機とした、想定外の新たな脅威への対応も視野に入れた取組の検討

●現在、原子力については、2050年カーボンニュートラルの実現やエネルギー安全保障の確保への貢献や、非エネルギー分野での放射線利用拡大への期待がある。原子力を取り巻く状況変化等を踏まえ、政府内では、GX 実行会議や原子力委員会、また原子力関係閣僚会議において、原子力政策に係る議論がなされているところ。こうした中、今後、当委員会又は部会で検討を行っていくべき論点例は以下のとおり。

- ✓ 次世代革新炉開発や幅広い放射線利用を推進するための人材育成、研究開発方策。我が国唯一の原子力の総合的研究開発機関である原子力機構と大学等の研究機関における研究開発・人材育成機能の役割分担や連携方策。

- ✓ 我が国の試験研究炉を取り巻く状況を踏まえた今後の取組。
- ✓ バックエンド関係では、研究施設等廃棄物埋設事業の推進、原子力機構のバックエンド対策の着実な推進、大学等廃止措置の推進、IAEA ピアレビューのフォローなど、中長期的な課題も含めた引き続きの検討。
- ✓ 核不拡散・核セキュリティ関係では、核不拡散・核セキュリティ総合支援センター（ISCN）と大学との一層の連携、幅広いステークホルダーとの繋がりを深化させながらの学習機会の一層充実方策。新たな脅威に対応すべく、サイバーセキュリティ等新規トレーニングの開発・提供や事案発生後の対応に備えた演習強化等の検討。
- ✓ 原子力科学技術を効果的・効率的に推進していくための評価の在り方の検討。